おけがわほんぷらす
OKEGAWA honプラス+
No.34
不定期発行

子どもつうしん



桶川市マスコットキャラクター
「オケちゃん」



令和8年度 推奨図書特集



埼玉県では、子どもたちが楽しく読みながら、豊かな心や考える力を育めるような本を「埼玉県推奨図書」として毎年選んでいます。
今回の「子どもつうしん」では、その中からおすすめの本をいくつか紹介します。
本を読むと、知らなかった世界に出会ったり、新しい発見があったりするものです。
気になる本があったら、図書館や本屋さんで探してみてください。
新しい本との出会いのきっかけになればうれしいです。

埼玉県推奨図書サイト

※QR コードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です



いつも、だれかの笑顔のために

『おたすけてんぐ ベンベン』

長谷川 義史・作／絵　出版社：教育画劇　ISBN：978-4-7746-2351-1



こまっている子どもたちのもとへ、おたすけてんぐのベンベンがかけつける楽しい絵本です。

「ないている子はござらぬか、こまっている子はござらぬか」という呼びかけとともに現れ、みんなのこまりごとをかいけつしていきます。

“ベベ ベン ベン ベン ”というテンポのよいかけ声や、ベンベンのかつやくは、どれもおもしろくて思わず大笑い。

楽しくてページをめくる手がとまらない、元気いっぱいの絵本です。

だれかのために力になるって、こんなに楽しくてみんなを笑顔にするんだね。

・中央図書館に蔵書があります



なじめない日があっても、だいじょうぶ。

『ゆらゆらなじかん』



石津 ちひろ・訳　出版社：BL 出版　ISBN：978-4-7764-1174-1

桶川図書館に蔵書があります

新品の運動ぐつを買ってもらってしばらくは、足になじまず、かぱかぱする感じがしますよね。その、なじむまでの時間が「ゆらゆらなじかん」です。

主人公の女の子はあたらしい家に引っ越してきました。でも、家にも、あたらしいともだちにも、まだなじめません。そんな女の子に、おばあちゃんは「今はゆらゆらなじかんだから」と話してくれます。

不安な時間も、わるいものではないのかもしれません。

ほら！運動ぐつが足になじむように、うまくいくようになったでしょ？



「なぜ？」を追いかけた先に、大発見が待っていた。

『まぼろしの動物　ニホンオオカミ』

小学生、なぞのはくせいの正体を追う

たけたに ちほみ・文　坂口 友佳子・絵　川田 伸一郎・監修　小森 日菜子・協力
出版社：Gakken　ISBN：978-4-05-206066-3



ふだんから絶滅した動物に関心をもっている小学生の日菜子は、国立科学博物館の倉庫見学で、100年以上前に絶滅したニホンオオカミではないかと思われるはくせいを見つけます。しかし、それが本当にニホンオオカミなのかはわかりません。資料を調べ、推理し、研究者にも話を聞きながら調査を続けた日菜子は、その成果を「調べる学習コンクール」に応募します。

――その結果は、文部科学大臣賞！　この本は、その探究の道のりを物語風に描いたノンフィクションです。何かを「好き」だという気持ちが、大きな発見につながることを教えてくれます。

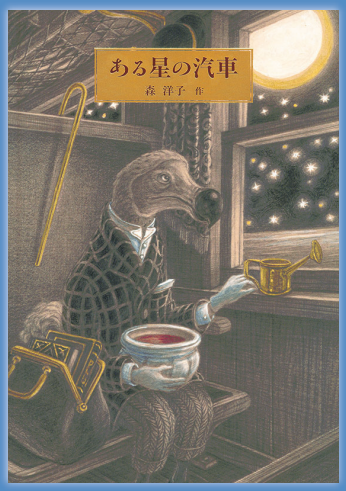
・中央図書館に蔵書があります

この旅の意味に気づくとき・・・

『ある星の汽車』

森 洋子・作

出版社：福音館書店
ISBN：978-4-8340-8874-8



広い大地を走る一台の汽車。その車内には、さまざまな動物たちと、お父さんと旅をする男の子がいます。男の子は動物たちと言葉を交わしながら、不思議な旅を続けます。駅に着くたび、「どうかお元気で」と別れを告げて降りていく乗客たち。やさしい文章とやさしく美しい絵にふれながら、まるで絵本の世界に入り込んだような気持ちになります。それと同時に、どこか切ない気持ちが心に残ります。まるで自分も同じ汽車に乗っているような気持ちで読める一冊。何度も読み返すうちに、きっといつか違う景色が見えてくるはずです。

桶川図書館に蔵書があります

だれも見たことのない世界を信じて

『ガリレオとアントニ』

遠くをみた科学者と近くをみた科学者

メアリー・アールド・文　エイドリアン・メサーブ・文/絵　千葉 茂樹・訳

出版社：光村教育図書
ISBN：978-4-89572-165-3



望遠鏡で宇宙を見つめたガリレオと、顕微鏡で小さな生き物を見つめたアントニ。二人の科学者は、自分の目で見た真実を追い求めました。そこには、だれも想像できないほどたくさんの星や、小さな生き物たちが何千、何万とうごめく、見たことのない新しい世界が広がっていました。遠くと近く、対照的な二人の人生が交互に描かれます。見ているものは正反対でも、二人に共通していたのは、あきらめずに見つめ続ける力でした。その探究心が、今の私たちが知る世界につながっています。まるで博物館を訪れたような気持ちで読める一冊です。

・中央図書館に蔵書があります

あの日、ともに見上げた空は、ひとりじゃなかった。

『あの日、ともに見上げた空』

黒田 季菜子・作
トミイマサコ・絵

出版社：Gakken　ISBN：978-4-05-206244-5



修学旅行に行けなかった兄・ほーちゃんのために、施設の人たちが「やり直し修学旅行」を企画してくれます。妹の伊吹も親友とともに参加することになり、これまで気づかなかった兄の思いや、兄を支える人たちの優しさに触れていきます。

障害や福祉という重いテーマを扱いながらも、関西弁を交えた軽やかな語り口で最後まで楽しく読ませてくれます。「ありがとう」の意味や人と人とのつながりの大切さが心にしみる、温かな感動作です。日本児童文学者協会新人賞と小川未明文学賞をダブル受賞したのも納得の一冊です。

中央図書館スタッフが選んだオススメ本　特集テーマ「令和8年度埼玉県推奨図書」

あきらめない心を持った女性メアリーと化石発掘のお話。

『きょうりゅうレディ』
リンダ・スキアース・作
マルタ・アルバレス・ミゲンス・絵
まえざわ あきえ・訳
出版社：出版ワークス
ISBN：978-4-907108-76-2

野菜の花ってどんな花？食べているのは、どの部分？

『やさいのはな なんのはな？』
宮崎 祥子・構成／文
網野 文絵・写真
出版社：岩崎書店　ISBN：978-4-265-83151-7

どんなふうに動物園や水族館の生きものたちを守る仕事をしているの？

『いのちをまもるじゅういのしごと 1 どうぶつ園のじゅういの一日』
東武動物公園・監修　出版社：小峰書店　ISBN：978-4-338-36401-0

紙をびりびりやぶってみよう！何ができるかな？

『びりびり』
中新井 純子・作
出版社：童心社　ISBN：978-4-494-00794-3

ピーターラビット誕生の瞬間…！

『ビアトリクス・ポターの物語 キノコの研究からピーターラビットの世界へ』
リンゼイ・H・メトカーフ・文
ジュンイ・ウー・絵　長友 恵子・訳
出版社：西村書店　ISBN：978-4-86706-027-8

科学オタクの健人が見つけた研究に大切なこととは？

『東京タワーに住む少年』
山口 理・作　ふすい・絵
出版社：国土社　ISBN：978-4-337-33653-7



OKEGAWA hon プラス+ は

図書館、本屋さん、イベントスペース、カフェなどがいっしょになった、みんなが楽しく学べるしせつです。イベントスペースでは、いろんな先生が来て、宇宙、南極、動植物、科学実験などを教えてくれるイベントをやっています。図書館や本屋さんがすぐとなりにあるのでイベントで学んだことを本ですぐ調べることもできるよ。

OKEGAWA hon プラス+でのイベントの予定についてはこちらをご覧ください▶

※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

OKEGAWA hon プラス+

おけがわマイン 3F
〒363-0022 埼玉県桶川市若宮1-5-2
OKEGAWA hon プラス+
048-786-6353 桶川市立中央図書館

発行者：OKEGAWA hon プラス+運営協議会（桶川市・株式会社新都市ライフホールディングス・丸善雄松堂株式会社）
「202611」

